

## 気候変動アクション日本サミット 2019

(Japan Climate Action Summit 2019; JCAS2019)

2019年10月31日(木) 13:00-18:00/イイノホール

主催：気候変動イニシアティブ (Japan Climate Initiative; JCI)

### 【プログラム】(登壇者は50音順、敬称略)

#### 1. 開会あいさつ (13:00)

末吉 竹二郎 気候変動イニシアティブ代表 / 国連環境計画・金融イニシアティブ特別顧問

#### 2. 基調講演 気候変動対策をリードする世界の非国家アクター

ナイジェル・トッピング We Mean Business CEO

#### 3. パネルディスカッション 「気候変動アクション最前線 2019」

##### 3-1 脱炭素経営の最前線

モデレーター：森澤 充世 CDPジャパン ディレクター

上山 健一 花王株式会社 ESG部門 副統括

近江 静子 アムンディ・ジャパン株式会社 運用本部 ESGリサーチ部長

高橋 壮模 コニカミノルタ株式会社 グループ業務執行役員 サステナビリティ推進部長

野村 隆治 キリンホールディングス株式会社 執行役員 CSV戦略部 部長

##### 3-2 自然エネルギー拡大の新段階

モデレーター：石田 雅也 自然エネルギー財団 シニアマネージャー (ビジネス連携)

磯野 久美子 自然電力株式会社 コーポレート部 部長

小川 謙司 東京都 環境局地球環境エネルギー部長

小山 勝弘 大和ハウス工業株式会社 環境部 部長

銭谷 美幸 第一生命保険株式会社 運用企画部部長 兼 責任投資推進部部長

鶴田 健志 ソニー株式会社 品質・環境部 環境グループ ゼネラルマネージャー

##### 3-3 地域からゼロエミッションを実現する

モデレーター：田中 健 WWF ジャパン 自然保護室 気候変動・エネルギーグループ

下間 健之 京都市 環境政策局地球環境・エネルギー担当局長

鈴木 亨 NPO法人 北海道グリーンファンド 理事長

竹本 了悟 TERA Energy 株式会社 代表取締役

薬師寺 えり子 横浜市 温暖化対策統括本部長

(休憩)

#### 4. 来賓挨拶 (15:55)

小泉 進次郎 環境大臣

鈴木 馨祐 外務副大臣

牧原 秀樹 経済産業副大臣

金融庁

#### 5. 若者セッション 「クライメートストライキの時代」

モデレーター：小西 雅子 WWFジャパン 自然保護室 専門ディレクター (環境・エネルギー)

酒井 功雄 350.org ボランティア / 高校生

清水 イアン 環境アクティビスト

塚本 悠平 気候ネットワーク インターン / 京都大学大学院 地球環境学舎修士課程

當間 由佳 NPO法人アイセック・ジャパン 事務局次長 兼 海外戦略統括

#### 6. トップリーダーセッション

モデレーター：国谷 裕子 キャスター

青井 浩 丸井グループ株式会社 代表取締役社長 CEO

市川 晃 住友林業株式会社 代表取締役 社長

越 直美 大津市長

デービッド・セマイヤ 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社 取締役会長 (共同)

#### 7. 閉会 (18:00)

閉会後にレセプション (お飲み物と軽食あり・参加費無料) を開催します。

(時間：シンポジウム終了後～19:30 / 場所：Room A (4階カンファレンスルーム側))

\*プレスの皆様へ：レセプション会場での取材はご遠慮ください。

※登壇者発表資料およびサミット映像は、後日 JCI ウェブサイト (<http://japanclimate.org/>) のお知らせページにて公開予定です。

## 【基調講演 登壇者プロフィール】(敬称略)



**ナイジェル・トッピング (Nigel Topping) We Mean Business CEO**

CDP のエグゼクティブ・ディレクターを経て現職。それ以前の 18 年間は製造業界でのコンサルティング・経営に携わり、直近では自動車部品製造企業での MBO チームメンバーやサプライチェーン担当シニアバイスプレジデントとして事業統括や世界各地の事業所における責任者を担った。スペイン、米国、ドイツそしてイギリスでの勤務経験を持ち、ブラジル、インド、中国等の新興マーケットで多くのプロジェクトを成功させた経験を持つ。

## 【トップリーダーセッション 登壇者プロフィール】(50 音順、敬称略)



**青井 浩 (Hiroshi Aoi) 株式会社丸井グループ 代表取締役社長 CEO**

1986 年入社、常務取締役、副社長等を経て、2005 年 4 月に代表取締役社長就任。創業以来の小売・金融一体の独自のビジネスモデルをベースに、ターゲット戦略の見直しや、ハウスカードから汎用カードへの転換、S C・定借化の推進など、さまざまな革新をすすめる。ステークホルダーとの共創を通じ、すべての人が「しあわせ」を感じられるインクルーシブで豊かな社会の実現をめざす。



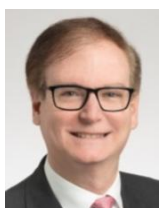
**市川 晃 (Akira Ichikawa) 住友林業株式会社 代表取締役 社長**

兵庫県出身。1978 年関西学院大学経済学部卒業後、住友林業入社。2002 年営業本部国際事業部長、2005 年住宅本部住宅管理部長、2007 年執行役員 経営企画部長、2008 年取締役 常務執行役員を経て、2010 年 4 月代表取締役 社長に就任し現在に至る。また、住宅生産団体連合会 副会長、日本木造住宅産業協会 会長、第 32 次地方制度調査会 会長、経済同友会 副代表幹事、経団連自然保護協議会 副会長、岐阜県立森林文化アカデミー 特別招聘教授などを務める。



**越 直美 (Naomi Koshi) 大津市長**

大津市出身。2000 年北海道大学法学部卒業、司法試験合格。2001 年北海道大学大学院法学研究科修士課程修了。2002 年から弁護士として日米の法律事務所に勤務。2009 年ハーバード大学ロースクール修了。2010 年コロンビア大学ビジネススクール客員研究員。2012 年 1 月から現職。



**デービッド・セマイヤ (David Semaya)**

**三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社 取締役会長 (共同)**

米国、欧州、アジアの金融サービス業界で 30 年にわたる経営実績を有する。2004 年までは米メリルリンチ社にて NY と東京で様々な要職を歴任し、2009 年以前はパークレイズ・グローバル・インベスターズ社 (現ブラックロック社) の欧州アジア事業の CEO を務めた。その後、ロンドンに本拠を置く国際金融グループ パークレイズ社に異動し、傘下のプライベートバンキング事業 (英国およびアイルランド) を統括した。2014 年 9 月、日興アセットマネジメント代表取締役会長就任。2018 年 10 月、三井住友トラスト・アセットマネジメント取締役会長 (共同) 就任。米英両国籍を有し、日本語も堪能。



**モデレーター：国谷 裕子 (Hiroko Kuniya) キャスター**

米国ブラウン大学を卒業。NHK「7時のニュース」英語放送の翻訳・アナウンス担当。NHK 衛星放送「ワールドニュース」キャスターを経て、1993 年から 2016 年 3 月まで、NHK 総合テレビ「クローズアップ現代」のキャスターを担当。現在、東京芸術大学理事、慶応義塾大学特任教授、米日カウンシル評議員会評議員、国連食糧農業機関 (FAO) 親善大使。2011 年日本記者クラブ賞など受賞多数。2017 年 9 月より自然エネルギー財団理事。

【登壇者】(50音順、敬称略)

1. 開会あいさつ



末吉 竹二郎 (Takejiro Sueyoshi)  
気候変動イニシアティブ 代表  
国連環境計画・金融イニシアティブ 特別顧問

3. パネルディスカッション 「気候変動アクション最前線 2019」

3-1 脱炭素経営の最前線



上山 健一 (Ken-ichi Ueyama)  
花王株式会社  
ESG部門 副統括



近江 静子 (Shizuko Ohmi)  
アムンディ・ジャパン株式会社  
運用本部 ESGリサーチ部長



高橋 壮模 (Takenori Takahashi)  
コニカミノルタ株式会社  
グループ業務執行役員  
サステナビリティ推進部長



野村 隆治 (Ryuji Nomura)  
キリンホールディングス株式会社  
執行役員 CSV戦略部 部長



モデレーター  
森澤 充世 (Michiyo Morisawa)  
CDPジャパン ディレクター

3-2 自然エネルギー拡大の新段階



磯野 久美子 (Kumiko Isono)  
自然電力株式会社  
コーポレート部 部長



小川 謙司 (Kenji Ogawa)  
東京都 環境局  
地球環境エネルギー部長



小山 勝弘 (Katsuhiko Koyama)  
大和ハウス工業株式会社  
環境部 部長



銭谷 美幸 (Miyuki Zeniya)  
第一生命保険株式会社  
運用企画部部長 兼  
責任投資推進部部長



鶴田 健志 (Takeshi Tsuruta)  
ソニー株式会社  
品質・環境部  
環境グループ ゼネラルマネジャー



石田 雅也 (Masaya Ishida)  
自然エネルギー財団  
シニアマネージャー (ビジネス連携)

### 3-3 地域からゼロエミッションを実現する



下間 健之 (Takeshi Shimotsuma)  
京都市 環境政策局  
地球環境・エネルギー担当局長



鈴木 亨 (Toru Suzuki)  
NPO法人 北海道グリーンファンド  
理事長



竹本 了悟 (Ryogo Takemoto)  
TERA Energy 株式会社  
代表取締役



薬師寺 えり子 (Eriko Yakushiji)  
横浜市 温暖化対策統括本部長



モデレーター  
田中 健 (Ken Tanaka)  
WWFジャパン 自然保護室  
気候変動・エネルギーグループ

### 5. 若者セッション 「クライメートストライキの時代」



酒井 功雄 (Isao Sakai)  
350.org ボランティア  
高校生



清水 イアン (Ian Shimizu)  
環境アクティビスト



塚本 悠平 (Yuhei Tsukamoto)  
気候ネットワーク インターン  
京都大学大学院 地球環境学舎修士課程



富間 由佳 (Yuka Toma)  
NPO法人 アイセック・ジャパン  
事務局次長 兼 海外戦略統括



モデレーター  
小西 雅子 (Masako Konishi)  
WWFジャパン 自然保護室  
専門ディレクター (環境・エネルギー)

# 気候変動イニシアティブ

JAPAN CLIMATE INITIATIVE \

## 参加の呼びかけ

「気候変動イニシアティブ(Japan Climate Initiative : JCI)」は、パリ協定の実現に向け、気候変動対策に自ら積極的に取り組む企業や自治体、NPO/NGO など非政府アクターのネットワークです。また JCI は、脱炭素社会の実現に向け、日本が世界の中でもっと大きな役割を担うべきことを国に求めています。

2018年7月に105団体の参加で誕生したJCIには、既に400団体以上が参加しています。設立宣言に賛同し、脱炭素社会の実現にむけた真剣な取り組みを進める全ての企業、自治体、NPO/NGOなどの皆さまに、JCIへの参加を呼びかけます。

### 「気候変動イニシアティブ」に参加すると

#### 1 気候変動への取組みの発信

それぞれのJCIメンバーが進める先駆的な取組みを、気候変動アクション日本サミットなどの場で情報発信することができます。また、今年5月には、日本政府の2050年に向けた長期戦略案に対し、200以上のJCIメンバーが賛同し、再生可能エネルギーの利用拡大などを求める政策メッセージを発表しました。こうした非政府アクターとしての声を上げる取組みにも参加することができます。



#### 2 JCIメンバー向けのワークショップやセミナーへの参加

JCIメンバー向けの様々な企画に参加することができます（参加費無料）。今年7月には、メンバー交流ワークショップ「先進事例から得る気候変動対策のヒント」を開催し、11月にはセミナー「IPCCが警告する気候変動の危機と世界の動き」を開催します。

また、今回の気候変動アクション日本サミットのような一般参加が可能なイベントでも、JCIメンバー向けには先行して募集をご案内しています。



#### 3 海外の気候変動イベントへの参加

海外での気候変動イベントの際には、開催情報の提供や現地での海外企業などの交流の場の設定など、日本から参加するJCIメンバーのサポートを行っています。

今年9月にニューヨークで開催されたクライメートウィークには、JCIメンバーから多くの企業、自治体が参加しました。参加者からは、「素晴らしい経験が得られ、「心から『参加してよかった!』と感じている」「単独でNYCに行くよりも、JCIとしてまとまっていくことで、多くの方々に接触できたり、大きなイベントにも参加できて良かった」などの感想をいただきました。



### 「気候変動イニシアティブ」に参加するには

JCIのウェブサイト（URL: [japanclimate.org](http://japanclimate.org)）にアクセスし、参加申し込みフォームに入力して送信してください。詳細はウェブサイトをご覧ください。

